

## 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	43	学校名	茨城県立友部高等学校						課程	全日制		学校長名	佐藤 義久				
教頭名	後藤 一彦												事務(室)長名	秋山 公男			
教職員数	教諭	28	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	38	
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数					
	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	12					
		57	103	43	111	36	104			136	318						

## 2 目指す学校像

目指す学校像 「一人一人の生徒の生きる実感や充実感のある学校」

校訓「あすの社会を担う責任ある若人として明るくゆたかにたくましく前進しよう」のもと、これからの社会を担う責任ある若人として、明るく豊かにたくましく前進する、「生きる力」を持った生徒の育成を目指す。

そのためには、教職員が「生徒一人一人の力を見つけて、育て、伸ばす学校」でありたい。

また、生徒を全人的に見つめ、「一人一人を大事にして面倒を見る学校」でありたい。

さらに、本校は「一人一人の生徒の生きる実感や充実感のある学校」を目指す学校像の基本的な実践課題とする。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒の学習意欲が十分ではない。調査では、家庭学習の時間が1時間以内と少ない。学習意欲の向上については、能力に応じたきめ細かい指導が必要である。	シラバスの提示等から、予習復習等、自学自習への取組をどう進めるか。
生徒指導	年度末の反省では、教職員の過半数が服装・頭髪指導に問題意識を持っていた。	管理指導も必要だが、生徒の自己指導力を啓発する指導をどう進めるか。
進路指導	さらに、生徒の規範意識を啓発する服装・頭髪やマナー等の指導が必要である。	1・2年から各種進路ガイダンスをどう進めるか。個人にどう対応するか。
特別活動	16年3月卒業生の進路状況は、大学・短大40%、専修学校等31.3%、就職18.7%、未定(浪人)10%と多岐に渡り、個に対応したきめ細かい指導が必要である。	人数的に部や同好会に満たない、多様な生徒の希望にどう応えるか。
学校健康教育	本校の男女比は男子30%、女子70%であるが、前年度の部活動加入率は男子70.5%に対し女子52.4%(文化部33.9%、運動部18.5%)と女子の加入率が低い。	現在ある危機管理マニュアルをどう再構築するか。
学校健康教育	学校安全で、学校事故に対する危機管理が十分ではない。とりわけ交通安全では、自転車通学における事故(前年度2件)の未然防止に努める必要がある。	

## 4 中期的目標

- 1 生徒の学習意欲を引き出し、自学自習への取り組みを促すために、明確なシラバスを提示するとともに、「わかる授業」を目指した授業研究を実施し、教育内容の改善を図る。
- 2 HRや学年HR等のもとより、学校教育全体をとおして生徒の道徳心を啓発する「心の教育」を実践し、規範意識の高揚を図る。

#### 4 中期的目標

- 3 多様な進路状況に対応するため、個人面談及び各種進路ガイダンスを計画的に実施し、生徒一人一人への支援を重視した進路指導や課外指導等の充実を図る。
- 4 生徒の自主的な活動が円滑に実践できるよう支援体制を整え、部活動等の強化を図るとともに、文化祭やクラスマッチ等の学校行事の充実を図る。
- 5 自他の人権・生命の尊重の精神を涵養するため安全教育を充実させ、事故等の未然防止を図る。また、健康増進法等の主旨（受動喫煙の防止）を踏まえ、平成17年度から学校敷地内禁煙を実施する。

#### 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	一人一人の学力に対応したきめ細かな学習指導の実施 規範意識の確立や道德心の涵養を図る取り組みの実施 在り方・生き方の教育をおし、支援を重視した進路指導の実施 生徒の自主性を尊重した学校行事や部活動の円滑な実施 事故の未然防止を踏まえた安全指導の実施及び防煙教育の充実	各教科、シラバスを再構築するとともに、「わかる授業」を目指した授業研究を実施し、教科指導の改善・充実を図る。 HR指導資料を活用し、HRの充実を図る。また、服装・頭髪指導に全校で取り組み、身だしなみから規範意識を高揚させる。 個人面談週間を設定し、個に応じた支援を充実させるとともに各種進路ガイダンスを計画的に実施し、指導の充実を図る。 クラスマッチや文化祭の実施方法等を見直し、内容の充実を図る。また、全員体験入部等から、部活動への加入率を高める。 危機管理マニュアルを大幅に見直し、計画的な安全指導を実施する。また、敷地内禁煙を目指した防煙教育を実施する。	
2年次	一人一人の学力に対応したきめ細かな学習指導の実施 規範意識の確立や道德心の涵養を図る取り組みの実施 在り方・生き方の教育をおし、支援を重視した進路指導の実施 生徒の自主性を尊重した学校行事や部活動の円滑な実施 事故の未然防止を踏まえた安全指導の実施及び防煙教育の充実	生徒一人一人に学習計画を立てさせ、自学自習に一貫性を持たせることで確かな学力の向上を図る。 HR、教科、学年等、学校教育全体をとおして道德心の涵養を図り、併せて校則の遵守等をとおして規範意識の確立を図る。 各種検査や試験の結果等の情報活用を支援し、自己実現に向けた進路指導の充実を図る。 全教員で部活動の指導に当たり、部活動への加入率を高め、活力ある校風の樹立に努める。 交通安全指導の計画的な実施から、事故の未然防止に努める。 また、17年度から学校敷地内禁煙を実施する。	
3年次	一人一人の学力に対応したきめ細かな学習指導の実施 規範意識の確立や道德心の涵養を図る取り組みの実施 在り方・生き方の教育をおし、支援を重視した進路指導の実施 生徒の自主性を尊重した学校行事や部活動の円滑な実施 事故の未然防止を踏まえた安全指導の実施及び防煙教育の充実	生徒個人の差異や能力に応じた指導から、基礎基本の指導の徹底を図り、確かな学力の向上を目指す。 教職員の一一致した指導から、公共マナーの向上を目指し、併せて生徒一人一人の自己指導力の育成を図る。 進学指導を充実し、国公立大学等への合格を目指す。また、就業体験学習を充実させ、就職率の向上を図る。 全教員で部活動の指導に当たり、部活動への加入率をさらに高め、活力ある校風の樹立に努める。 安全指導の計画的な実施から学校事故の未然防止を図る。また、保護者・地域社会に対しても、学校敷地内禁煙を徹底する。	